

Masachain コンセプトペーパー

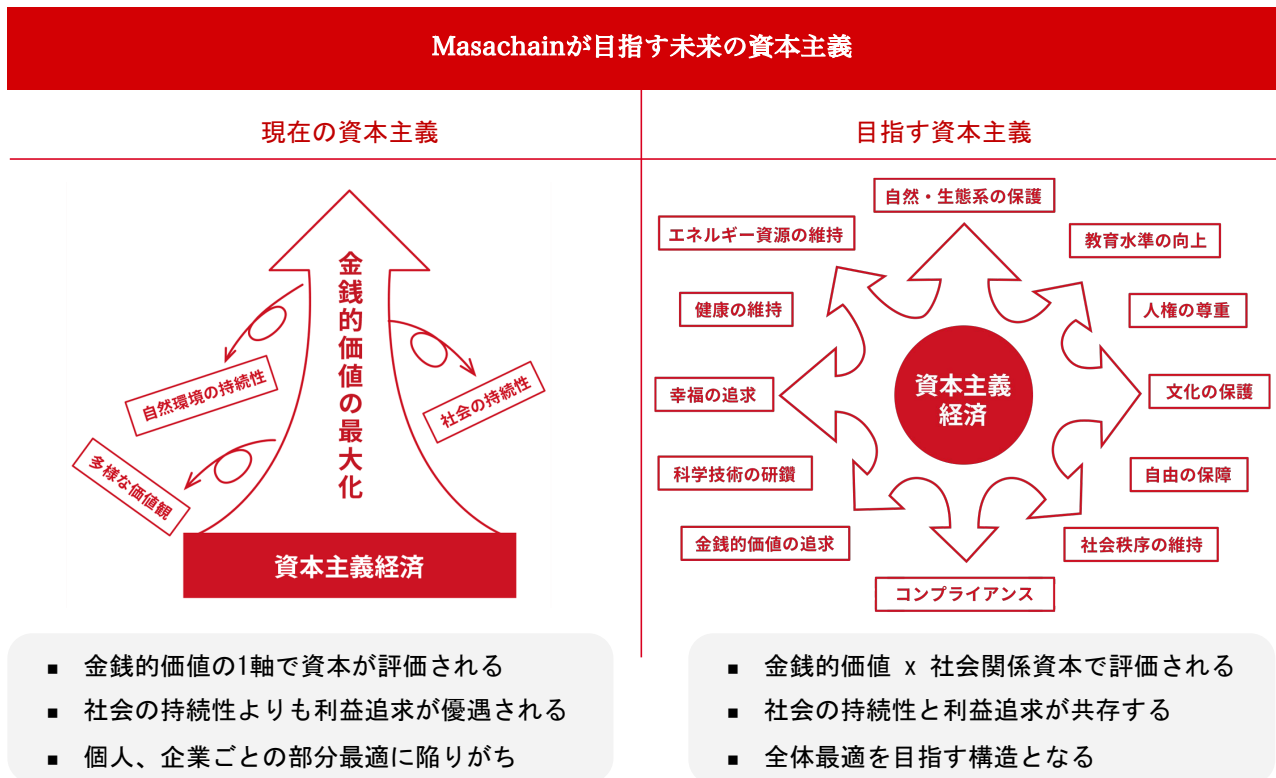
~社会関係資本をブロックチェーンで可視化する新たなプロジェクト~

【プロジェクト概要】

Chaintope は、社会関係資本を可視化するトークンエコノミー(トークンを活用した経済圏)を生み出す「Masachain」のコンセプトを発表します。Masachain は、人々の「感謝・共感・応援」といったポジティブな感情を可視化することで、現在の社会における金銭では表現できない新たな尺度を備えた、併存可能な新たな社会及び経済システムの創出を目指すプロジェクトであり、Chaintope が昨年よりブロックチェーンを用いた実装に向けて技術開発及び社会学的見地からの研究に取り組んできました。

Masachain の Masa は漢字の「正」を意味し、Masachain があらゆる人の関係性や行動の道義的「正しさ」を扱うことと、ブロックチェーン技術によって記録される情報が改竄されず「正しい」ことに由来します。

今後の開発スケジュールとして、現在中盤に差し掛かっているプロトタイプ開発を来春を目処に完了させ、海外の大学等において、実用化に向けての課題抽出を目的とした実証実験を5カ国において1万人規模で実施する検討を開始しています。



現在の資本主義社会は制度疲労を起こしており様々なところに歪を抱えています。Masachainのコンセプトを社会に適用することによって、資本主義を新たなフェーズへシフトすることができる、と我々は考えています。

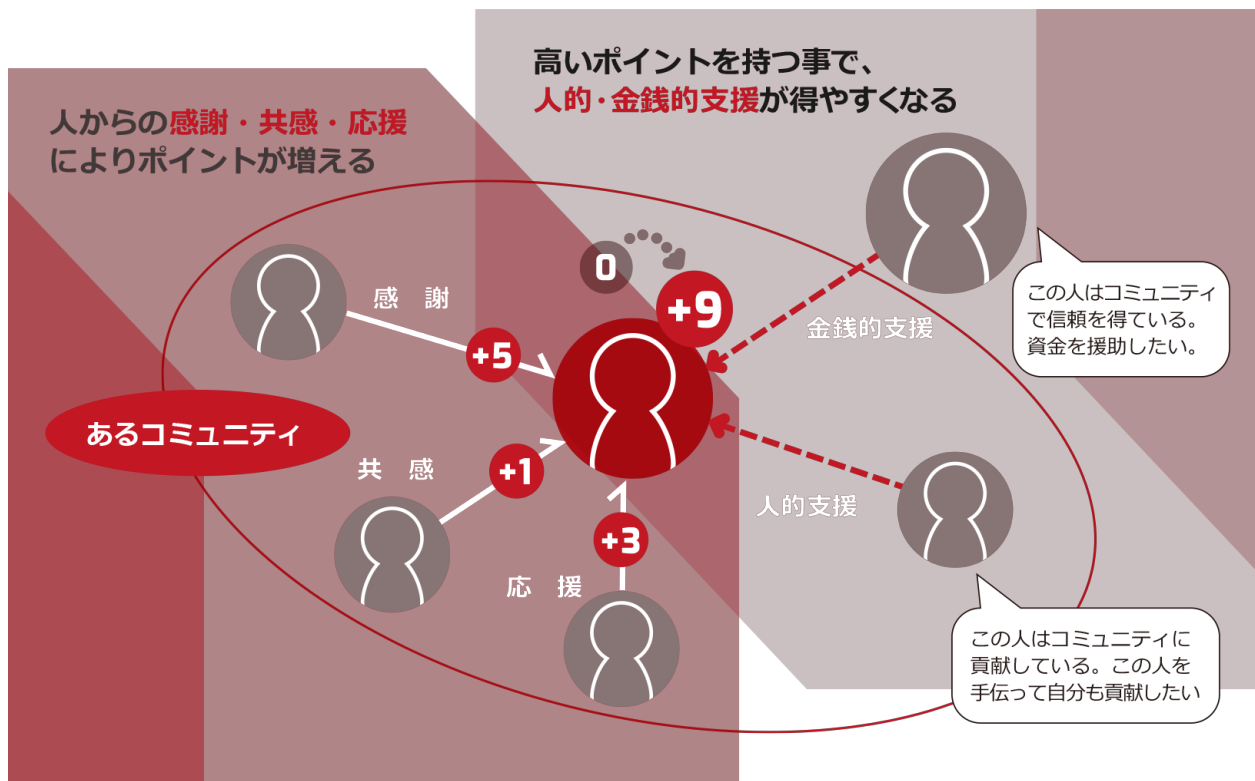
【背景】

社会関係資本とは、金銭に換算することが難しいものも経済に影響を与えるという背景から、それらを資本として扱うことで経済との関係性を研究しようという動機から生み出された考え方であり、特に人と人、人と社会の関係性の状態を資本として扱うという考え方です。

一般に社会関係資本が豊かな地域では、政治参加の拡大、子供の教育成果の向上や、治安の向上、地域経済の発展、地域住民の健康状態の向上など、経済面・社会面において好ましい効果をもたらされていると言われています。

これまで、社会関係資本を合意形成を踏まえて改竄できない形で直接的に記録することは技術的に不可能とされてきました。Chaintope では、ブロックチェーンの基盤技術の研究開発に取り組む中で、トークンエコノミーを生み出すことによって、社会関係資本を直接的に記録・可視化することが可能になり、世の中を良い方向に変えることができると考え、昨年より Masachain の研究開発を開始し、構想を固めて参りました。

Masachain は、今までの資本主義とは違う社会関係資本という側面からお金にならないという理由だけで埋没してきた人や事象にも、光を当て、その価値を浮き彫りにします。



【社会関係資本を可視化する仕組み】

Masachain のユーザーは、あるコミュニティの中で、人と人が信頼関係を築くための礎となる「感謝・共感・応援」などの感情をアプリ上で互いに投げ合い、その履歴を社会関係資本として Masachain 上に記録します。

「感謝・共感・応援」を念頭においた行動と、他者に対する応援を発する行動が積み重なることによって、その人と周りの人の関係が見える化していく仕組みを実現します。その上で、参加者にとってコミュニティの規範に従うということが、従わない場合よりも大きなメリットを得られるという状況を設計します。

それによって、規範的行動が推奨され、増えていくことが期待できます。個々人の合理的な判断の結果としての正しい振る舞いを全ての人々から引き出すことができれば、高度な信頼を担保することができるようになります。

その結果、道義に外れた行動が抑制され、他人を疑うためのコストが不要となり、社会全体の効率性の上昇にもつながるでしょう。人の正しい振る舞いによって蓄積された信用を参照することによって、多大な労力・時間・お金を掛けずとも、例えば信用に値するビジネスパートナーを見つけること等も可能になるといった未来を描いています。

【「正しさ」の定義について】

Masachain は、人の正しい行動を可視化し引き出すことでより効率的な社会の実現を目指しますが、この正しさというのは地域・文化・立場などによって様々な違いがあります。

このため、Masachain では、社会を効率化する正しい社会関係資本のあり方について世界レベルの議論を行っていくことを目指します。

Masachain の規範について、初期段階では、社会へのコミットメントによって他者から受けた「感謝・共感・応援」とSDGs(*)という2つの観点に基づいて定義を試みますが、誰もが新しい種類の社会関係資本を提案し、Masachain の仕組みの中で扱えるように進化させていく予定です。

【Masachain が目指す未来】

Masachain はこれらの機能を通して、正しい社会関係資本をブロックチェーンに記録することを可能にし、人々の社会活動や経済活動における様々なシーンでの活用を促進します。ひとりひとりの今ある行動を基礎として積み上げられた信頼が、新たな挑戦をする人の背中を後押し、更にそれを応援する人達が集まり、アイデアが形になり、周囲に喜びを与え、その結果、新しい価値を生み出すという正のサイクルが起ることによって、世の中をより豊かにしていくことを目標としています。

Masachainを実現するためのロードマップと課題

2018 10月末 コンセプトペーパーの公開

©Masachainの協力者を募集開始。

2019

1月～ 4月 プロトタイプ完成

4月～ 6月 実証実験の実施

7月～10月 フィードバック、開発

11月 ベータ版リリース

【我々と一緒に Masachain を進める仲間を求めています】

Masachain は社会にとってとても公益的なプロジェクトです。現在、[Chaintope](#) のメンバーを中心にプロジェクトを推進していますが、将来的には Chaintope から独立した団体を母体として推進される方が望ましいと考えています。そのためには、皆様のご協力が必要です。

プロジェクトメンバーとして共に Masachain を推進して下さる方、様々な分野の学術的・技術的専門性を元に Masachain にフィードバックをくださる方、Masachain をご自身が関わるコミュニティや事業へ適用されたい方、Masachain についてのご意見をお聞かせください。

(*)SDGs(Sustainable Development Goals)とは、持続可能な世界を実現するための国際目標です。2016 年から 2030 年までに取り組むべき 17 のゴール・169 のターゲットから構成され、2015 年 9 月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」に記載されています。

外務省「JAPAN SDGs Action Platform」

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/about/index.html>

本件に関するお問い合わせ先

Email info@chaintope.com